

令和5年度 大阪府公立高等学校等アドミッション ポリシー(求める生徒像)並びに学力 検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

【アドミッションポリシーとは】

アドミッションポリシー(求める生徒像) アドミッションポリシーとは、学校が求める生徒像、期待する生徒の姿を示したものであり、受験生にとって、志望校を決定する大きな判断材料の一つになるとともに、受験生 が、出願時に自己申告書を作成する際に参照するものです。高等学校においては、総合点(学力検査の成績等+調査書中の評定)等とともに、この アドミッションポリシーに基づいて、受験生の可否を判定することになります。

【本校のアドミッションポリシー】

本校は、創立 100 周年記念事業を迎える歴史と伝統、3学科設置という特色を生かした教育活動を 展開している東大阪市唯一の市立高等学校です。目的意識を持って入学する生徒が多く、将来の進路 実現や部活動など、個々の目標に向かって「日に新たに」の気持ちで頑張っています。本校は皆さんの力を大きく伸ばすことのできる活気にあふれる高校です。日新で夢をかなえましょう。意欲のある皆さんの入学を心からお待ちしています。

- 1) 卒業後の進路を見すえ、夢や希望の実現に向け「日に新たに」の気持ちで努力をし続ける生徒
- 2) 部活動や生徒会活動・学校行事など、課外活動や自主活動にも熱心に取り組む生徒
- 3) 特技や資格、部活動成績等、優れた能力を有する生徒
- 4) 新しく学ぶ商業科の学習に積極的に挑戦し、様々な資格や技能の取得につとめようとする生徒(商業科志望者)
- 5) 英語が好きで、英語の学力や英会話の向上と資格取得に積極的に取り組む生徒(英語科志望者)
- 6) 専門的な文系・理系科目を意欲的に学習し、難関大学入試に挑戦しようとする生徒(普通科文理コース志望者)
- 7) スポーツに関する様々な学習を通して、スポーツマンシップやリーダー性を養い、将来地域や社会で活躍できる生徒(普通科スポーツコース志望者)

【選抜の種類】 一般入学者選抜

【学力検査 問題の種類】 国語・数学・英語とも「B(標準的問題)」

(注3) 一般入学者選抜における問題の種類及び特徴

種類	特徴		
	国語	数学	英語
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题する。	基礎的な計算問題を出題するとともに、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用(データの活用)」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用(データの活用)」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法についての理解を問ううえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用(データの活用)」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 標準的・発展的な内容の英文の中から、話題や論理の流れに沿って必要な情報を素早く読み取る力を問う問題とともに、一定量以上のまとまりのある内容を英文で適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。 ※問題文は、指示文を含め、すべて英語で構成する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題とともに、「読む・聞く・書く」技能を統合的に活用する力を問う問題を出题する。

*英語の学力検査は、令和3年4月26日に通知した「大阪版 中学校で学ぶ英単語集(令和3年4月改訂)」から出題します。

*A、B問題のリスニングテストでは、同一問題を使用し、配点は約20%とします。

*C問題のリスニングテストでは、A、B問題と異なる問題を使用し、配点は約33%とします。

【倍率のタイプ】 タイプ III

倍率のタイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率	参考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	630点	270点	900点
II	1.2倍	0.8倍	540点	360点	
III	1.0倍	1.0倍	450点	450点	
IV	0.8倍	1.2倍	360点	540点	
V	0.6倍	1.4倍	270点	630点	